



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会 編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

子どものオアシス『子どもの家』



「子どもの家」って何だろう？「どこにあるの？」と『子どもの家』のことを知らない方も多いかと思いますが、そこで簡単に紹介させていただきます。

『子どもの家』では、主に療育や訓練にきているお友だちのきょうだい児と職員の子どものお預かり、また小郡市より委託を受け、病児・病後児保育をしています。

初めは、ほとんどの子がお母さんと離れる時に泣きますが、何日も登園していくうちに少しずつ慣れ、段々泣かなくなります。抱っこやおんぶから降りてオモチャや他のお友だちとあそび、時にはイタズラをする（？）こともあります。

子どもの家では、朝のおあつまりからはじまり、手あそびや体操をします。主活動では、制作や感覚遊び、室内の遊具で体を動かす等楽しく過ごしています。

子ども達は家で、今日の出来事をお母さん達に話したり、覚えた歌や手あそび等を披露したりしているようです。このようなお話を聞かせてもらえると、とても嬉しく心が和みます。

これからも、子ども達のキラキラの笑顔がたくさん増えるように、そしてお母さん達が安心して「行ってきます」と療育に行けるような『子どもの家』で在りたいと思っています。

(子どもの家 牟田いづみ)

心の窓

にし かえで
西 可楓ちゃん

こんにちは。個別でお世話になっている西可楓の母です。

可楓は、平成十四年三月に体重一四六グラム、在胎週数二十九週五日で生まれました。生まれた時は息をしていませんでした。私の早期胎盤剥離が原因です。

緊急手術で、うすれゆく意識の中で「神様お願い！絶対この子を育ててみせるから、生きてさえいればいいから、私からこの子を取り上げないで」とお願いしたことを憶えています。

結婚して六年でやっと授かった子供でした。それまでも二度流産を経験していましたが、可楓が生まれた時は本当に嬉しかったです。保育器に入っている可楓を見て、「何てかわいいの！」と感激しました。

『障がい児を育てているのではなく、自分の子供を育てているだけ』これはあるお母さんの言葉です。

私はこの言葉に支えられました。本当にその通りだと思い、力みが取れました。のんびり一步一步、歩んでいこう。子育てを楽しもう、と考

えました。初めての子でしたので、可楓のゆっくりな成長も、こんなものかな？と見守ることができました。そのためか、可楓はのんびり育ちました。

「普通の子が普通に経験すること

を普通に経験して欲しい」そう考え、

いろんな所に一緒に出掛けました。

ハンデを理由に何でもあきらめて欲しくない。可楓にはいつも笑顔でい

て欲しい。だったら私も、常にあきらめずにいよう。いつも笑顔で過ご

そう。そうやって、可楓と一緒に成長させて頂いています。毎日可楓に

笑わせてもらっています。

今までいろんなことがありましたが、結局、可楓が生まれた時のこと

を思い出すと頑張れます。可楓の存在全てがありがたいです。

今回このような機会を頂き、可楓の生まれた時を思い返すことができ、

改めて子育てできることに感謝することができました。

来春から中学生です。今から制服

姿が楽しみです。そうやって楽しみが

増えていけたらいいなあと思いま

す。ありがとうございます。

(西 可楓の母)



こぐまLINE

生活支援員
おおさと さおり
大里 沙織

みなさん、こんにちは。私は、障害者支援部生活支援員の太里沙織と申します。みなさんの中には、初めてのご挨拶となる方も多くいらっしゃるかと思います。

私は、今年で二十六歳を迎えることができましたが、今までの二十六年間をふと思い返すと、日々の日常生活を送ることがとても幸せなことだと改めて思います。

私は子どものときに、小児がんの一つである「急性リンパ性白血病」を患いました。長期の入院に伴い、化学療法・放射線療法をおこない、約二年半の期間を経て寛解から完治に至ることができました。

しかし、完治から一、二年後には再入院となり、骨髄移植（造血管細胞移植）を受けなければなりません。

骨髄移植を受けるにはドナーが必要となります。ドナーとのHLA型（リンパ球）が適合して移植が可能になるのですが、血縁関係のない他人同士ではHLA型が合う確率はとても低く、数万〜数百万分の一、同父母の兄弟・姉妹間であれば二十

五%とドナーを見つけるのは困難な状況とされていきました。ですが、兄弟・姉妹が多ければ多いほど適合確立も増えるといわれていました。

私には姉と弟がおり、幸いなことに姉とのHLA型が一致し、骨髄移植を受けることができました。

白血病は治りましたが、がんに対する治療が終了して数ヶ月あるいは数年が経過してから生じる「晩期合併症」（晩期障害）を持つてしまいました。そのために、この年になっても年に四回程の小児科等への病院受診は未だに欠かすことができません。

私は小さい頃から死と向き合うこととなりました。日々やせ細っていく次第には話をするこゝさえ困難となり、姿を消してしまつた友人、いつの間にかいなくなつてしまつた友人。その現実を目の当たりにして私も友のように死んでしまうのではないかと恐怖を覚ええました。

どうして私なのか、やつと治つたのにどうして次から次へと合併症が現れるのか。終わりの見えない現状に苛立ち、はがゆさのあまり、親にきつく当たり、時には残酷な言葉を吐いてしまったこともありましたが、母をはじめ、家族や親戚の協力があ

つてこそ今の自分があること、今を生きていられることに感謝しなければなりません。

今、こぐま福祉会で仕事をさせていただいている中で、命のありがたさを深々と感じられます。これから頑張りたいと思います。

★ 放課後等デイサービス グループ紹介 ★

ヘリコプターグループ



ヘリコプターグループは、現在、年長児 6 人が在籍しています。『友だちに言葉で表現することが出来る・友だちと協力することができる』ことを目標に活動しています。4 月当初は、自分のことで一生懸命だった子ども達も、現在は 2 人組やチーム対戦での活動などを通して、困っている友だちを助けること、ゲームの作戦会議の中で自分の意見を伝えることが少しずつ増えてきました。

今後は、当番活動などを通して、自分の意見をまとめ、みんなの前で発表する事などを取り組みたいと思います。

(グループ担当 立山英恵)



上手に渡せるかな？

ひこうきグループ



ひこうきグループは、現在、年長児 11 人が在籍しています。『友だちと遊びを共有して楽しむ・集団のルールや自分のすべきことを理解して活動に参加し、達成感を持てる・友だちに言葉で伝えることができる』ことを目標に活動しています。4 月当初は慣れない教室や、初めての友だちや先生に、ドキドキしていた子ども達も、週 1 回、活動を行う中で、友だちと楽しんで遊ぶ姿が見られるようになってきました。今後も活動を通して友だちと“協力して〇〇する、”という場面を増やし、就学に向けて達成感を持ち自信に繋げていけるよう取り組んでいきたいと思っています。(グループ担当 平川)



あと少しで完成だよ！



いざ勝負！親子で卓球対決！



お父さんと一緒に体操♪



歩くの楽しい♪



運転おまかせあれ♪



棒倒しにいくぞ♪

生活介護事業所「べあクラブ」
スポーツ大会を行いました！

みんな集合～♪

11 月 1 日（金）、第 4 回スポーツ大会をアリーナ棟にて開催しました。午前中の保護者競技や親子競技は、パワー溢れる名勝負ばかり。午後はサーキットや車椅子ダンスを行いました。サーキットでは、各自パネルの一部を持ち、ハートウォーカー（両手が自由に使える歩行器）や手引き歩行などで日頃の個別訓練の成果を発揮！最後にはみんなで作った大パネルが完成し、べあクラブが一つになりました。

平日にも関わらず、たくさんのご家族の方に参加して頂き、大変賑やかなスポーツ大会となりました。

(生活支援員 大里)

愛らんと宿泊体験

十一月八日(金)・九日(土)に、恒例の宿泊体験をくらぶハウスにて行いました。宿泊体験を通して、将来的なグループホーム等を活用した生活に対する現状の把握や適応力の向上を目指しています。

一日目の夕食は利用者や職員でカレーを作りました。役割を決め、野菜の皮を剥く人や野菜を切る人、米を研ぐ人などに分かれ調理しました。出来上がったカレーは大好評!

二日目は、思い出作りとして巾着袋を色染めました。五色の染料の中から一つを選び色染めし、その後外にさらして出来上がり。綺麗な模様の巾着袋を作ることが出来ました。

今回の宿泊体験は、天候にも恵まれリフレッシュする事も出来ました。また、今回体験したことを、今後の生活の場で役立てていければと思います。(生活支援員 下野)



遠足に行ってきたよ

十一月十二日(火)に『児童発達支援センターこぐま学園』のみんなが吉野ヶ里公園へ行きました。寒さが心配されましたが、当日は快晴の中、長い滑り台を滑ったり、みんながエアートランポリンで跳ねたりと楽しく過ごすことが出来ました。また、広場では、ソリや大きなボールであそび、笑顔いっぱいの日でした。(児童指導員 立山英恵)



イオンモールに行ったよ

十一月二十七日(水)・二十八日(木)に筑紫野イオンモール内のモリーフアンタジー様が『児童発達支援センターゆう』のお友だちを招待してくださいました。ふわふわの滑り台や本格的なお店屋さんごっこコーナーもあり、みんなの表情もキラキラと輝き、とても楽しんでいました。いろいろなあそびを経験させていただき、子ども達も良い思い出になりました。(児童指導員 平川)



学会に参加してきました!

十一月二十三日(土)・二十四日(日)、熊本市内にて第三十五回九州理学療法士・作業療法士合同学会が開催されました。福祉会から「QOLのレベルアップの脳性まひ児の生活環境について―他施設との共同調査―」について演題発表を行い、有意義なディスカッションができました。(理学療法士 木下)



研修会に参加してきました!

十一月二十九日(金)・三十日(土)、福岡市で開催された『全国児童発達支援協議会 中四国・九州ブロック職員研修会』に参加しました。

岸統括による基調講演と、作業療法士の高山によるオリジナルスプーンについての演題発表を行いました。他施設との意見交換もでき、今後のよりよい支援に繋がっていききたいと思っています。(理学療法士 小柳)

奇跡ありがとっぺいしました

今年も、小郡市商工会女性部様よりいただいたパンジーの花が、福祉会の玄関をきれいに彩っています。(ゆう園長 林)

もちつき(の)案内

★こぐま福祉会「もちつき」日時…十二月十五日(日) 十時 場所…福祉会園庭

今年も地域の方々と一緒に餅つきをしてみんなで盛り上がりとうとを考えています。ぜひ、ご家族おそろいでお越し下さい。★尾久保研修所(みんなの館)「もちつき・クリスマス会」日時…十二月二十三日(祝) 九時 場所…尾久保研修所

参加費は五百円です。久保田組によるサックス演奏会もあります。ぜひ、冬の尾久保に足を運んでみてください。(そら委員 田嶋)

行事予定



- 3日(火) 広汎性発達障害を持つ子どものための学習会
- 12日(木) 避難訓練
- 15日(日) もちつき(こぐま福祉会)
- 23日(祝) もちつき・クリスマス会(尾久保)
- 25日(水) クリスマス会(こぐま福祉会)
- 29日(日)~1月4日(土) 年末・年始休暇
- 1月7日(火) 療育開始

- 《交流保育》
- 5日(木) 三国保育所
- 6日(金) 真愛保育園
- 17日(火) 天使幼稚園・味坂保育園

